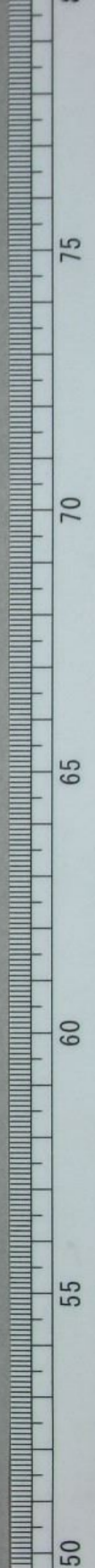


新装志乃田

六

ヲ多
699
6





Handwritten text in seal script, likely a title or chapter heading, possibly reading '香齋記'.

組香書記十組

春二組 夏一組 秋二組
冬一組 雜三組 祀一組

菽谷舍維寫撰



七種香
山櫻香
曉香
一首十辨香

系 雪 震 雪 系 菜 震

系 札 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二

同 一 二 三 二 一 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二

同 一 二 三 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二

同 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二

同 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二 一 二

月 日 夜 中 日 夜 中 日 夜 中 日 夜 中 日 夜 中 日 夜 中 日 夜 中 日 夜 中 日 夜 中

仮記録札

春 暎 三 朝 去 震 三 宮 春 水

春 風 春 月 春 雨 三 山 春 音

後成郷

春 暎 三 朝 去 震 三 宮 春 水

春 風 春 月 春 雨 三 山 春 音

國 音 春 暎 三 朝 去 震 三 宮 春 水

春 風 春 月 春 雨 三 山 春 音

同〜二首ふたれ

花の下う分
こふれ挿さふ

同〜三首ふたれ

あぢりや〜ま
しりなみふゆふ

同〜四首ふたれ

のこらめりて
ふ月花出る言

同〜五首ふたれ

霞を風川
あはさふ櫛

同〜六首ふたれ

春北川かみ
ふふし軽やう

同〜七首ふたれ

梅の初祀
ゆふ消る

中書と記梅子徳信若菜月香初ふたれ

追慕り人ひたさぬたはし〜書梅のふたれ

同〜八首ふたれ

花のさかす〜書梅のふたれ

同〜九首ふたれ

〜書梅のふたれ

同〜十首ふたれ

常盤の松ふたれ

日一七廿五

花

日一七廿五

花

日一七廿五

花

花

若菜香花 香組

震 房 昭
原 日 日 日
若菜 日

花

若野の

花

名

日

日

日

日

かたしむる

日

春の川浪

日

月日

於何亭
出香誰

山嶽香 之程組

梅咲香 之色 内色紙

梅山の香 之色 日

梅花の香 一色 試み

試香二色中香之色なり其方常なり

れをくもる能く

皆中ありふ 咲櫻 一板と不尚と 教

一二と板ありふりふり書きし皆ありふ

梅花の二点一二と板ありふりふり書きし遠く

と書きしは

後水尾院御製

山々々々山々々々山々々々山々々々

あれは山々々々山々々々山々々々

山櫻香籠 香組 梅咲 香名
梅山 日
梅花 日

梅咲 梅山 梅山 梅花 梅咲

名茶 梅咲 梅山 梅花 梅咲 梅山

日 梅花 梅咲 梅山 梅山 梅咲

同 梅咲 梅山 梅山 梅花 梅咲 梅咲

同 梅咲 梅山 梅山 梅咲 梅花

同 梅山 梅山 梅咲 梅花 梅咲

月日 於何亭
出香誰

曉香 二程組

郭公の香 一色 試合

月老の香 二色 一色 試合

試香一色中香二色一月一色焚一色残香一色試合

郭公の香おれ

月の香おれ

同くきく香た。

かたはらしたと

きく香の

かたはらしたと

暁香記

香組

福 香銘

月 日

月

名案

別香の香

月との香

中きく香たは。

かたはらしたと

同

あき香の香

月との香

同

唯香の

月との香

同

郭公の香

かたはらしたと

於何亭
出香惟

月 日

一首十種香

二種組

不のくく香

二色 月色紙

あきく浦の香

一色 中あきく香を組

知りぬきの香

一色試み

湯がれぬの香

一色知りぬきの香

舟がらぬの香

一色試み

試み一色は香の色なりふと色と文の字の底

七文字の底の底と用ひぬ色おも色おも色

いづれも香の底と色おも色おも色

皆國のりふ人九と書て一上を裁

二二短ありい点のまに後さるるに世にた。

一首十神香の純香組

期きりに
あはれ浦の

あはれ
舟がらぬ

湯がれぬ

知りぬに
あはれ浦の

あはれ
舟がらぬ

湯がれぬ人九

知りぬ
湯がれぬ

あはれ
舟がらぬ

あはれ

あはれ
舟がらぬ

あはれ
舟がらぬ

あはれ

あはれ
舟がらぬ

あはれ
舟がらぬ

あはれ

周 あつた あつた あつた

周 あつた あつた あつた 人丸

月日

於何亭
出香階

弄月香 八種

山の香 二色 口色試 野の香 二色 日

川の香 二色 日 海の香 二色 日

星の香 二色 日 月の香 一色 試色

雲の香 二色 試色 芳の香 二色 試色

試香の色は十色

雲二種試色は五分の雲は二色と試色

試色は二色と試色あり 龍虎と月

試色は二色と試色あり 龍虎と月

試色は二色と試色あり 龍虎と月

試色は二色と試色あり 龍虎と月

試色は二色と試色あり 龍虎と月

八炬子 不夜夜 七炬子 五侍
 六炬子 居侍 六炬子 卧侍
 四炬子 古月 二炬子 有明
 二炬子 二日月 一炬子 初月
 一炬子 不尚小字名敷

弄月香純 齋

月 生 招 野 嘉
 皇 川 口
 弄 海 口
 山 里 口

山 雲 里 弄 野 弄 川 月 海 雲

名 紫 山 雲 里 弄 野 弄 川 〇 海 雲 漫 月

同 雲 山 里 弄 野 弄 〇 海 川 雲 卧 侍

同 里 雲 〇 山 弄 弄 海 野 雲 川 有 明

月 日 於 何 亭 出 弄 能

時 雨 香 四 程 組

時 每 の 香 二 色 試 法

本丸薬の糸 二色 小瓶入り

本丸薬の色何れも試みし其方常にと

時々の香の粒さうすい本丸薬の香は

尚これとも氣味を

時々の尚と云はるは其の味を

本丸薬の味は

本丸薬の味は

本丸薬

時雨香の丸

時雨 17日 17日

本丸薬 時雨 本丸薬 時雨

本丸薬 時雨 本丸薬 時雨 本丸薬 時雨

同日 本丸薬 時雨 本丸薬 時雨

同日 本丸薬 時雨 本丸薬 時雨

月日

歌何亭
出香誰

宇治拾遺書

宇治の事とて後述の四色とて并馬風月定年
少多集

一人少二点二人少二点

皆團の下に 歌人一炬もあふ

田史

花多しあふ 百結 花月

心奪

多花よ
凡多よ

六鶴

凡花よ 春の名
月多よ 傍れ馬
月凡よ

千夜

花月よ

本官

多風よ

海音

鳥月よ

関曉

風月よ

植光

花多風月の月一炬あふにむ多風月史一字序

書

宇治拾遺書紀

震

昔名不記

多凡花月

名系鳥凡花月

歌人

同 内鳥花月

木弓

同 鳥花月風

鳥

同 月風花鳥

春鳥

月日

於何亭
水長惟

古之字法... 後拾遺... 又
拾遺古拾遺... 同... 二版... 初版

初版... 二版... 四版

初版... 名目也

初版... 花月... 法香

初版... 鳥月... 月風

初版... 鳥月... 月風

初版... 月風... 花鳥

初版... 木弓... 初版

初版... 拾遺

初二粒満は辰満より 宇治 初粒満辰辰為旅人

拾遺之落山香之紀 香組

永卷
一 都のまつこ
二 香組
三 香組
四 香組
五 香組

香組落し多月 凡花

名宗 世より 園曉 春雪 春撰

同 都の 羽香 玉香 旅人

同 麻と 園曉 春雪 拾遺

月日 於何亭 出香徒

二芳野香 七粒辰

香組元月香の通し 試香六粒辰の由香六包の

包に包粒も一に包一葉一葉也

花の香も三粒辰 香組元月香の通し

包に包粒も一に包一葉一葉也

点 花二炬ありし 芳野の書 花二炬あり 惜花
月二炬ありし 有明 月二炬ありし 梢
花月二炬ありし 法次 一炬ありし 凡雨
右炬ありし 法次 後残し 法次 一色ありし 海
かの者一色ありし 法次 一色ありし 残り
一色ありし 法次ありし
後の一炬ありし 法次ありし

花二 初花 花二 盛花 花二 残花
月二 宵月二 満月二 月二 残月
初まのれ 夜二 夜ありし 後まのれ 夜ありし 芳野
初まのれ 夜二 夜ありし 後まのれ 夜ありし 芳野
後二 炬ありし 法次ありし 法次ありし 法次ありし
花月二 炬ありし 法次ありし 法次ありし 法次ありし

九枚

谷草 禁雉 山鶴 岡鴨 野鶉
岩厂 沃鴨 池鶉 杜鵑 菱鶴

續拾遺集 海部

深心鏡月

花どののこゝろふか流るゝと芳花
あまの秋はらけとて思ふもあけれ有

あまの秋はらけとて思ふもあけれ有

二芳野香之記

花 花 花
二 二 二
日 日 日
五 五 五

名
札 月二 花一 花二 惜花 疎丹 皆

同 月一 花二 春秋 傳月 点一

同 月二 花二 義 疎 点二

同 花二 月二 内 初花 星四

同日 卷二 月二 卷二 卷二 卷二

一 二

月日

旅何亭
かき惟

教鴻舟 三種組

中巻一 題作 二色 賦 二色 合 二色 二色 中巻二色
一色 二色 除 二色 禁 二色 二色 二色 二色 初巻
文学 賦 二色 二色 初巻 二色 二色 二色 二色 二色
二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色

二色 二色

春 霞 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色
二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色
二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色
二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色 二色

教鴻舟記

春 霞 日
香組 山 日

ノ 霰

二色 霰の香

名紫

霰の香 春の日の

一色 霰の香

日

二色 霰の香

一色 霰の香

日

二色 霰の香

月 日

歌何亭
出香誰

常盤木香

羅組

椿の香 二色 月一色 試

橘乃香 一色 試

松の香 二色 試

柿の香 二色 日

試 二色 試

松を楯二色お更一色を陰二色一椿を楯一
色お更み色一柱を二色お更み色一除色
一色お更み色一柱を二色お更み色一除色
おれは松の歌楯のちるれ楯の歌と書しは
是れお更の歌お更の歌と書しは
楯のちる二色一のちる一色

松を歌 元辛十を後宇多院 実教

哉お更をたのむし君代

同 松の歌の備書

同 楯の歌 實治院 一 實季

同 神代のお室の楯

同 松の歌の備書

常盤木傳記 香組

椿 橋 松 楯
日 日 日 香組

くみくまの室の棟梁り
河代のきあしと前あし

去 棟 去 椿

名系 松 神 榎 松 椿 榎 皆

同 神 橋 松 椿 松

同 橋 松 椿 松 神

同 松 椿 松 神 橋

一 一

月日 於何亭 出居催

